

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和3年7月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



## 目 次

### I 事後調査の概要

1. 調査概要 .....	I - 1
2. 工事の実施状況 .....	I - 3
3. 調査結果の概要 .....	I - 4

### II 事後調査結果

1. 大気質 .....	II - 1
2. 水質 .....	II - 9



## I 事後調査の概要



## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和3年7月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	7月1日～31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	7月1日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

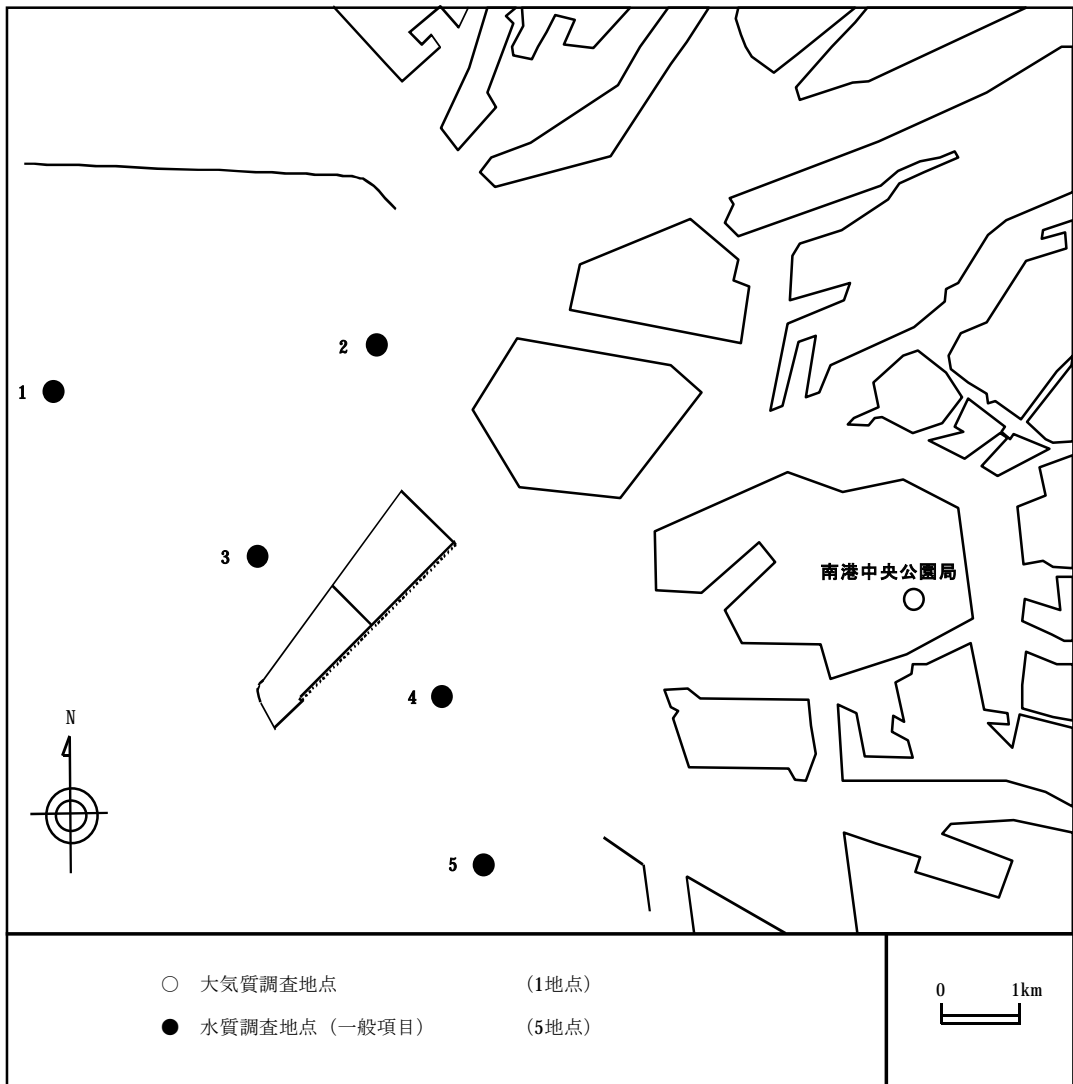
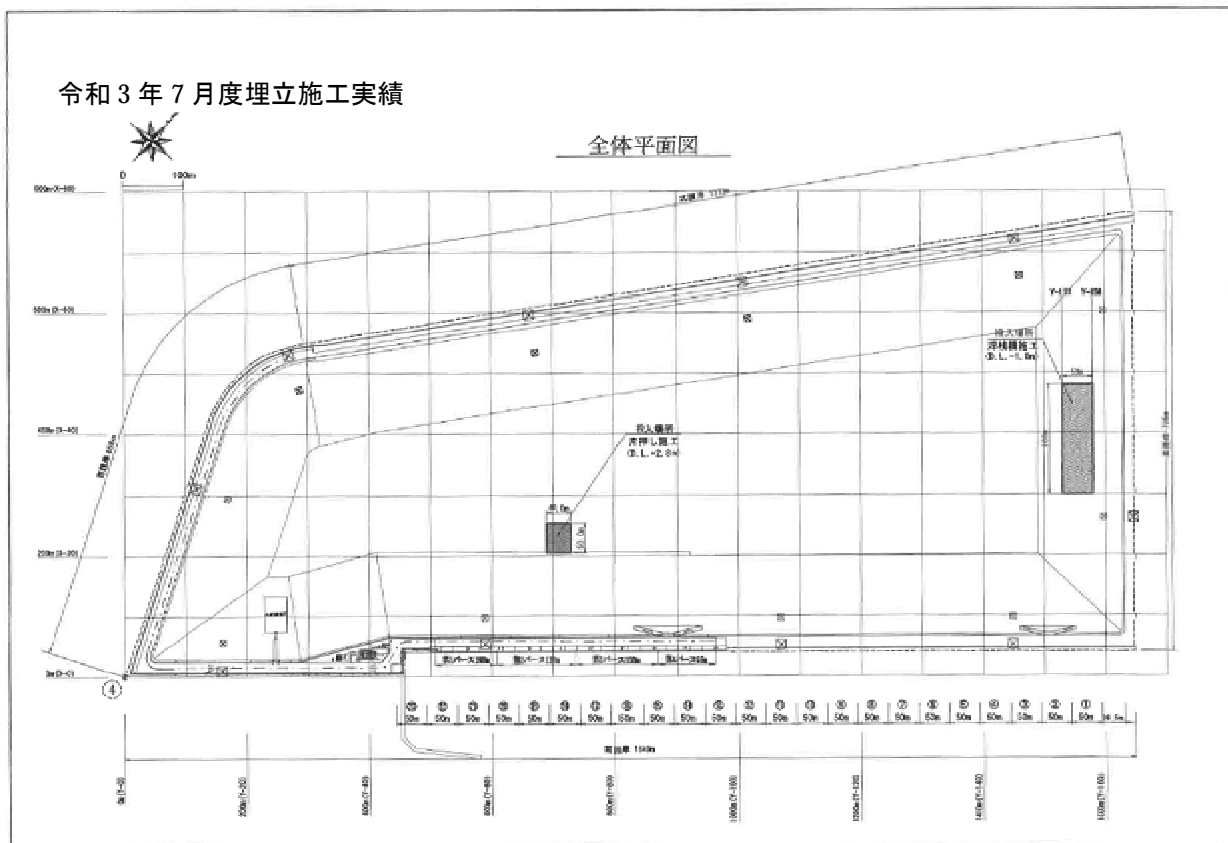


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点



## 2. 工事の実施状況

令和3年7月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
6,096,409	43.6

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

###### 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、**0.003ppm**であった。また、日平均値の最高値は**0.004ppm**、1時間値の最高値は**0.013ppm**であり、環境基準値を下回っていた。

###### 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、**0.016ppm**であった。また、日平均値の最高値は**0.029ppm**であり、環境基準値を下回っていた。

###### 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、**0.016mg/m<sup>3</sup>**であった。また、日平均値の最高値は**0.032mg/m<sup>3</sup>**、1時間値の最高値は**0.093mg/m<sup>3</sup>**であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で**8.0～8.3**、下層で**8.0～8.1**の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で**2.8～6.3mg/L**、下層で**1.8～2.2mg/L**の範囲であり、上層では調査地点**1、2、4、5**において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点**1 (4.1mg/L)**、調査地点**2 (3.5mg/L)**、調査地点**4 (5.2mg/L)**、調査地点**5 (6.3mg/L)**であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）は上層で**1.6～4.9mg/L**であり、調査地点**4、5**でこの範囲を上回っていた。調査前々日（6/29）から調査開始までに大阪気象台で**56.0mm**の降雨が観測されており、河川から海域に流入する有機汚濁物質の影響を受けて化学的酸素消費量(COD)の値が高くなったものであり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

###### 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で**6.3～7.4mg/L**、下層で**4.5～6.2mg/L**の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では調査地点**1**において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回っていた調査結果は、下層の調査地点 1 (4.5mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

#### 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.36~1.5mg/L、下層で 0.18~0.36mg/L の範囲であり、上層では調査地点 1、3、4 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.85mg/L)、調査地点 3 (0.79mg/L)、調査地点 4 (1.5mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

#### 5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.033~0.20mg/L、下層で 0.025~0.059mg/L の範囲であり、上層では調査地点 1、2、4、5、下層では調査地点 1、4 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.12mg/L)、調査地点 2 (0.11mg/L)、調査地点 4 (0.20mg/L)、調査地点 5 (0.14mg/L)、下層の調査地点 1 (0.053mg/L)、調査地点 4 (0.059mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020mg/L~0.25mg/L であり、上層の調査地点 4 でこの範囲を上回っていた。調査前々日 (6/29) から調査開始までに大阪気象台で 56.0mm の降雨が観測されており、河川から海域に流入する栄養塩類の影響を受けて全燐 (T-P) の値が高くなったものであり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

#### 6) 濁度

濁度は上層で 2~11 度(カリン)、下層で 1~4 度(カリン)の範囲であった。

#### 7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 2~11mg/L、下層で 1~3mg/L の範囲であった。

#### 8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 5.7~32µg/L、下層で 0.3~1.1µg/L の範囲であった。

## 《 参考 》

### ■環境基準値等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が <b>0.04ppm</b> 以下であり、かつ、 1 時間値が <b>0.1ppm</b> 以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が <b>0.04ppm</b> から <b>0.06ppm</b> までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が <b>0.10mg/m<sup>3</sup></b> 以下であり、かつ、 1 時間値が <b>0.20mg/m<sup>3</sup></b> 以下であること。

##### (2) 水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	<b>7.8</b> 以上 <b>8.3</b> 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	<b>3mg/L</b> 以下
	溶存酸素量 (DO)	<b>5mg/L</b> 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	<b>0.6mg/L</b> 以下
	全燐 (T-P)	<b>0.05mg/L</b> 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75%**水質値」を用いるものとする。

**75%水質値**・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（**n** は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値**（**0.75×n** 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項目		区分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1~5)	
			最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	—	
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	—	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)	
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)	
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8	
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9	
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)	
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)	
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)	
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)	

- 注) 1. 「最大~最小」の値は、調査地点 1~5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m: 環境基準値を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小~最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小~最大を示す。



## II 事後調查結果





大気質測定結果総括表 [令和3年7月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	738
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	738
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和3年7月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (木)	0.003	0.003
	2 (金)	0.003	0.004
	3 (土)	0.003	0.005
	4 (日)	0.003	0.004
	5 (月)	0.004	0.013
	6 (火)	0.004	0.006
	7 (水)	0.003	0.005
	8 (木)	0.003	0.004
	9 (金)	0.003	0.005
	10 (土)	0.003	0.005
別	11 (日)	0.003	0.006
	12 (月)	0.004	0.006
	13 (火)	0.004	0.005
	14 (水)	0.004	0.005
	15 (木)	0.003	0.005
	16 (金)	0.004	0.005
	17 (土)	0.003	0.004
	18 (日)	0.003	0.003
	19 (月)	0.003	0.004
	20 (火)	0.004	0.005
値	21 (水)	0.003	0.004
	22 (木)	0.003	0.003
	23 (金)	0.003	0.004
	24 (土)	0.003	0.004
	25 (日)	0.003	0.003
	26 (月)	0.003	0.005
	27 (火)	0.003	0.004
	28 (水)	0.004	0.005
	29 (木)	0.004	0.004
	30 (金)	0.004	0.005
	31 (土)	0.004	0.006
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		738	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.004	
1時間値の最高値 (ppm)		0.013	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和3年7月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)	
日	1 (木)	0.005	0.012	
	2 (金)	0.012	0.049	
	3 (土)	0.010	0.030	
	4 (日)	0.006	0.012	
	5 (月)	0.011	0.035	
	別	6 (火)	0.015	0.049
		7 (水)	0.013	0.031
		8 (木)	0.018	0.057
		9 (金)	0.014	0.048
		10 (土)	0.008	0.025
		11 (日)	0.004	0.005
		12 (月)	0.006	0.015
		13 (火)	0.005	0.008
		14 (水)	0.010	0.043
		15 (木)	0.006	0.019
値	16 (金)	0.011	0.025	
	17 (土)	0.009	0.019	
	18 (日)	0.005	0.007	
	19 (月)	0.013	0.030	
	20 (火)	0.008	0.028	
	21 (水)	0.007	0.018	
	22 (木)	0.005	0.013	
	23 (金)	0.004	0.007	
	24 (土)	0.006	0.016	
	25 (日)	0.005	0.009	
	26 (月)	0.005	0.018	
	27 (火)	0.005	0.007	
	28 (水)	0.005	0.009	
	29 (木)	0.005	0.006	
	30 (金)	0.005	0.008	
	31 (土)	0.006	0.026	
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		740		
月平均値 (ppm)		0.008		
日平均値の最高値 (ppm)		0.018		
1時間値の最高値 (ppm)		0.057		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [令和 3 年 7 月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1 時間値の最高値 (ppm)
別 日                      値	1 (木)	0.020	0.039
	2 (金)	0.020	0.036
	3 (土)	0.018	0.043
	4 (日)	0.012	0.022
	5 (月)	0.013	0.022
	6 (火)	0.019	0.027
	7 (水)	0.020	0.035
	8 (木)	0.021	0.031
	9 (金)	0.022	0.035
	10 (土)	0.016	0.023
	11 (日)	0.010	0.021
	12 (月)	0.024	0.042
	13 (火)	0.019	0.035
	14 (水)	0.029	0.047
	15 (木)	0.024	0.043
	16 (金)	0.018	0.032
	17 (土)	0.011	0.020
	18 (日)	0.008	0.014
	19 (月)	0.014	0.025
	20 (火)	0.016	0.025
	21 (水)	0.017	0.029
	22 (木)	0.009	0.016
	23 (金)	0.009	0.020
	24 (土)	0.011	0.019
	25 (日)	0.007	0.011
	26 (月)	0.014	0.040
	27 (火)	0.015	0.023
	28 (水)	0.015	0.025
	29 (木)	0.014	0.025
	30 (金)	0.014	0.021
	31 (土)	0.016	0.036
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.016	
日平均値の最高値 (ppm)		0.029	
1 時間値の最高値 (ppm)		0.047	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1 時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1 日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [令和3年7月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日	1 (木)	0.024	80.8	0.051
	2 (金)	0.033	62.3	0.085
	3 (土)	0.028	65.3	0.062
	4 (日)	0.018	66.7	0.030
	5 (月)	0.024	53.4	0.048
	6 (火)	0.033	56.1	0.068
	7 (水)	0.033	60.6	0.066
	8 (木)	0.038	54.2	0.083
	9 (金)	0.036	61.1	0.069
	10 (土)	0.024	67.7	0.048
別	11 (日)	0.015	71.6	0.025
	12 (月)	0.031	78.9	0.052
	13 (火)	0.024	80.2	0.040
	14 (水)	0.039	74.3	0.078
	15 (木)	0.030	80.0	0.062
	16 (金)	0.029	61.5	0.053
	17 (土)	0.019	54.9	0.029
	18 (日)	0.012	60.6	0.020
	19 (月)	0.027	52.1	0.046
	20 (火)	0.024	67.1	0.044
値	21 (水)	0.024	69.8	0.046
	22 (木)	0.014	66.1	0.029
	23 (金)	0.014	68.7	0.024
	24 (土)	0.017	65.9	0.033
	25 (日)	0.012	62.1	0.018
	26 (月)	0.019	71.3	0.048
	27 (火)	0.019	75.2	0.029
	28 (水)	0.020	75.9	0.034
	29 (木)	0.018	74.8	0.031
	30 (金)	0.019	74.7	0.026
	31 (土)	0.021	73.6	0.062
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		740		
月平均値 (ppm)		0.024		
日平均値の最高値 (ppm)		0.039		
1時間値の最高値 (ppm)		0.085		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		66.9		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>)の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

(NO 及びNO<sub>2</sub>が同時測定されている時間のNO<sub>2</sub>濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO 及びNO<sub>2</sub>が同時測定されている時間のNO+NO<sub>2</sub>濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和3年7月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (木)	0.008	0.026
	2 (金)	0.016	0.044
	3 (土)	0.014	0.026
	4 (日)	0.023	0.036
	5 (月)	0.026	0.034
	6 (火)	0.032	0.062
	7 (水)	0.023	0.043
	8 (木)	0.013	0.027
	9 (金)	0.020	0.049
	10 (土)	0.018	0.032
別	11 (日)	0.017	0.055
	12 (月)	0.015	0.032
	13 (火)	0.014	0.038
	14 (水)	0.019	0.035
	15 (木)	0.013	0.034
	16 (金)	0.010	0.052
	17 (土)	0.009	0.027
	18 (日)	0.011	0.031
	19 (月)	0.012	0.026
	20 (火)	0.013	0.028
値	21 (水)	0.015	0.042
	22 (木)	0.011	0.032
	23 (金)	0.012	0.027
	24 (土)	0.012	0.045
	25 (日)	0.010	0.021
	26 (月)	0.012	0.022
	27 (火)	0.020	0.042
	28 (水)	0.022	0.093
	29 (木)	0.016	0.028
	30 (金)	0.020	0.036
	31 (土)	0.025	0.054
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		738	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.016	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.032	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.093	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[令和3年7月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向  16方位
		平均 風速  (m/s)	最大風速		
			風速  (m/s)	風向  16方位	
日	1 (木)	1.1	2.2	SE	NE
	2 (金)	0.7	1.1	SW	E
	3 (土)	0.6	1.4	WSW	W
	4 (日)	0.5	1.2	WSW	VNW
	5 (月)	0.9	1.7	WSW	WSW
	6 (火)	0.7	1.8	WSW	W
	7 (水)	0.7	1.2	W, S	W
	8 (木)	0.5	1.8	SSW	W
	9 (金)	0.6	1.4	W	W
	10 (土)	0.8	1.8	W	W
別	11 (日)	0.9	1.6	WSW	WSW
	12 (月)	0.6	1.6	W	W
	13 (火)	0.8	1.5	W	WSW
	14 (水)	0.5	1.6	E	VNW
	15 (木)	0.7	2.3	W	NW
	16 (金)	1.0	2.6	ESE	ESE
	17 (土)	1.1	2.2	E	E
	18 (日)	0.9	2.3	WSW	NE
	19 (月)	1.0	2.2	W, WSW	WSW
	20 (火)	0.7	2.5	W	NW
値	21 (水)	0.8	1.9	W	W
	22 (木)	1.0	2.0	WSW	WSW
	23 (金)	0.9	2.5	WSW	WSW
	24 (土)	0.8	2.1	W, WSW	W
	25 (日)	0.8	1.9	WSW	WSW
	26 (月)	0.8	1.9	WSW	NW
	27 (火)	0.7	1.5	WSW	NW
	28 (水)	0.9	1.6	SW	WSW
	29 (木)	0.9	2.3	W	W
	30 (金)	1.0	2.1	W	WSW
	31 (土)	0.7	1.9	W	VNW
測定時間（時間）		744			
月平均風速（m/s）		0.8			
月最大風速（m/s）		2.6			
月最多風向（16方位）		W			

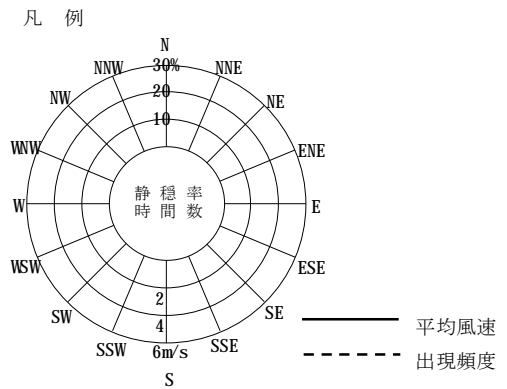
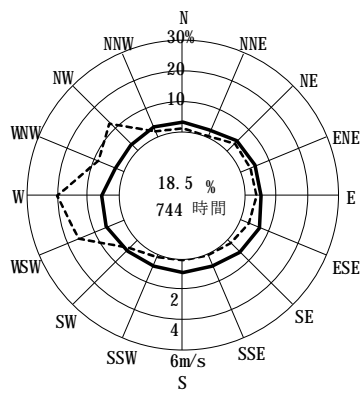
- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。  
 3. 最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和3年7月分]

方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WWW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	3	26	23	27	20	12	4	4	10	27	117	147	67	93	16	10	138	744
頻度 (%)	0.4	3.5	3.1	3.6	2.7	1.6	0.5	0.5	1.3	3.6	15.7	19.8	9.0	12.5	2.2	1.3	18.5	-
平均風速 (m/s)	0.5	0.9	1.0	1.0	1.3	1.1	0.8	0.9	0.8	0.9	1.2	1.1	0.6	0.6	0.7	0.7	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和3年7月分]



水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和3年7月分〕

調査日：令和3年7月1日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	8:48	8:24	9:12	10:23	10:04	-	-	
透明度 [m]	1.5	1.4	3.5	1.0	1.6	1.0 ~ 3.5	1.8	
水温 [°C]	22.1	22.4	21.0	22.2	21.2	21.0 ~ 22.4	21.8	
	20.0	20.5	20.6	20.1	20.6	20.0 ~ 20.6	20.4	
塩分 [-]	26.5	25.0	30.9	23.1	28.7	23.1 ~ 30.9	26.8	
	32.1	32.2	32.2	32.2	32.2	32.1 ~ 32.2	32.2	
濁度 [度(カリン)]	6	3	2	11	6	2 ~ 11	6	
	1	2	3	4	1	1 ~ 4	2	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	8	7	2	11	5	2 ~ 11	7	
	2	3	2	3	1	1 ~ 3	2	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.3	8.3	8.2	8.0	8.1	8.0 ~ 8.3	-	
	8.0	8.1	8.1	8.1	8.1	8.0 ~ 8.1	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	4.1	3.5	2.8	5.2	6.3	2.8 ~ 6.3	4.4	
	1.8	2.1	1.9	2.2	2.0	1.8 ~ 2.2	2.0	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	7.0	7.4	6.7	6.6	6.3	6.3 ~ 7.4	6.8
		4.5	5.7	5.9	5.0	6.2	4.5 ~ 6.2	5.5
	飽和度 [%]	94	99	90	87	84	84 ~ 99	91
		60	77	80	67	84	60 ~ 84	74
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.85	0.36	0.79	1.5	0.39	0.36 ~ 1.5	0.78	
	0.34	0.26	0.18	0.36	0.25	0.18 ~ 0.36	0.28	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.12	0.11	0.033	0.20	0.14	0.033 ~ 0.20	0.12	
	0.053	0.025	0.031	0.059	0.027	0.025 ~ 0.059	0.039	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	32	17	5.7	32	26	5.7 ~ 32	23	
	1.1	0.4	0.3	0.9	0.5	0.3 ~ 1.1	0.6	

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------